UNIV 国際大学生会議の参加者へ

バチカン、2018 年 3 月 16 日

親愛なる若者の皆さん

オプス・デイ属人区の後援による大学生たちの集いの五十周年にあたり、神と教会と教皇への愛に動かされて再び皆さんは永遠の都にやって来られました。こうして、多様な文化と経験を持ちながらも、幸福と充実と寛大な献身への同じ望みに動かされている他の若者たちと共に、聖週間中にキリストと出会い、信仰と皆さんの志を成熟させるための絶好のチャンスが与えられます。

皆さん方の集まりは、まさに「若者、信仰、そして召命の識別」のテーマで世界代表司教会議が開かれる年にあたっています。教会のこのイベントに参加する準備をするよう皆さん方を励まします。そのためには、イエスが愛し、その母マリアを私たちの母として託した若い使徒である聖ヨハネに目を留めるのが役に立つでしょう。皆さん方の人生の中を通りかかっておられるイエスを見いだし、熱意と、「イエスに出会う人々の心と生活全体を満たす」（使徒的勧告『福音の喜び』1 番）喜びをもって、主について行くことを主ご自身が教えてくださることでしょう。

そうです、主は喜びをもって付き従うように、また惜しみなく神と人々とを愛するように、私たち皆を招いておられます。聖ホセマリアの次の勧めが皆さん方の大きな助けとなるでしょう。「あなたがキリストを尋ね、キリストに出会い、キリストを愛するように」（『道』382 番）キリストの友としての付き合いを毎日培うことを欠かさないでください。頻繁に自分自身にこう尋ねてください。「私の立場ならイエスはどのようにされるだろうか。イエスに日毎より似たものとなるために、またイエスを他の人たちにもたらすために、自分に何ができるだろうか」と。祈りの中に、秘跡の中に、皆さん方の生活のあらゆる状況の中に、皆さん方を囲む人々の中に、キリストを探してください。人々とは、友だちや家族やクラスメイト。さらには、世間から忘れ去られて困窮しているがゆえに、キリストのみ顔を特別な形で反映している人々です。自分のことだけを考えるという安楽さや利己主義に打ち勝って、自分自身から抜け出すよう皆さんを招きます。こうして、困窮している人たちと出会い、皆さんの才能を用いて奉仕する道へと踏み出すのです。それこそが、キリストに付き従うために、キリストを愛する心を常に保つためにもっとも良い方法です。

皆さん方のため、また皆さん方の計画と夢のために祈ります。献身と奉仕という生き方に私たちを呼ばれたイエスの愛をいつも感じますように。

また、私のために祈ることも忘れないようにお願いします。イエスが皆さん方を祝福し、聖母が皆さん方を守ってくださいますように。

信愛を込めて。

フランシスコ

Franciscus